



教育目標

- ・よく考える人になろう
- ・進んで行動する人になろう
- ・責任感の強い人になろう
- ・豊かな心をもった人になろう



希望や夢をフクラマセテ

副校長 黒田 一三

もうすぐ2月が過ぎようとしています。まだ寒い日が続いていて、とても暖かな春が待ち遠しくなったりします。しかし、木々の枝が芽吹き始めているのを見ると、心が何かしらわくわくします。学校の正門脇にある紅梅と白梅の花がほころび始め、サクラの花の蕾も少しずつ大きくなっています。学校の敷地には、サツキ・イチョウ・カナメモチ・キンモクセイ・クワ・ムクノキ・ボダイジュ・ハナミズキ・ヒマラヤスギ・ハクモクレン・サルスベリなどの多数の木が植わっています。私たちは様々な表情を見せてくれる木や草花によって季節を感じ、豊かな気持ちになったりもします。練馬百景として選定された校庭のサクラが満開となる日をやはりとても楽しみにしています。

この2月の芽吹きは、冬から春になる大きな変化として何か新しいことがこれから始まり、希望や期待に夢をふくらませられるように感じたりします。学校ではこの時期は年度のまとめとして、これまでを振り返って反省し、次への準備を進めていくこととなります。

1年生は期待と不安を胸に抱いて入学してからまもなく1年となります。何もかもが目新しく、中学校生活に慣れようと一生懸命でしたが、授業への取り組みや学習習慣、学年・学校行事や部活動などではどうだったのでしょうか。この1年で学んだことは中学生の大切な基礎・基本となるものです。しっかり身に付いているかどうか今一度振り返ってみましょう。4月からは2年生として、中堅学年としての行動が求められてきます。新1年生に優しく教えてあげられる先輩になってください。

2年生は、すでに委員会や部活動などでは中心となって活動しています。これからはリーダーシップを発揮して最上級生として模範を示し、学校全体を引っ張っていく立場となっていきます。それはこれまで以上に責任が重く、大泉二中の伝統を引き継ぎながら、さらにすばらしい学校を造り上げていくことです。そして大事なことは、みんなでリーダーシップを発揮している友達を応援することです。それが成功の秘訣です。家族や地域の人たちに自慢ができる学校を作ってください。

3年生は中学校の3年間でたくさんのかげがえのないものを身に付けることができました。その中でも仲間を思いやり、一人一人の力は小さくとも、みんなで力を合わせれば大きなことが成し遂げられる団結の力を学びました。それは大泉二中ならではの貴重な体験です。達成感や充実感自ら進んで取り組んでいるからこそ得られるものです。卒業後もそれぞれの進路の中で、いろいろな人との出会いを大切にしてください。人から学び、人と力を合わせることによってさらに自分の成長につなげていってほしいと思います。

蕾のふくらみとともに希望や夢がふくらむ季節。新しい年度の目標に向かって、一歩ずつ近づけるように努力を続けていきましょう。皆さんが1年後の成長した自分に出会えるように期待しています。

◆校内では…

★百人一首大会(1月31日)

1月22日は1年生の百人一首大会、1月31日には2年生の百人一首大会を行いました。2年生では競技前に、10名の有志による箏の演奏「さくらさくら」があり、独特な趣を作り出していました。1年生も2年生もいざ競技が始まると全員が札と格闘して熱戦が繰り広がり、それまで寒かった体育館が徐々に暖まってくるほどでした。

★2年生スキー移動教室(2月16日～19日)

軽井沢少年自然の家で3泊4日の集団宿泊と湯ノ丸スキー場でスキー実習を行いました。初めてスキーを体験する生徒が多かったのですが、インストラクターのていねいな指導によりめきめきと上達し、初級コースから中級・上級コースを滑る多くの生徒がいました。自然のすばらしさを十分に味わったことだと思います。また、仲間と飲食を共にすることで友情が深められ、集団生活のルールやマナーを学ぶことができました。

★郡司ななえさんの講演会(2月22日)

1年生では、「ベルナのしっぽ」の著者である郡司ななえさんを招いて、「共に生きる」をテーマにした講演会を実施しました。視力障害のある郡司さんが、これから生きるうえで大切な心「あきらめない心、努力する心、工夫する心、勇気ある心」を話していただきました。盲導犬ベルナとの出会いや生活はとても興味深いお話しでした。「自分が心を開かなければ盲導犬も心を開かない。」「心の目が開かなければ本当に見えるとは言えない。」の言葉はとても心に響きました。盲導犬への接し方やクイズを交えたお話しで、あっという間の90分でした。

◆地域やPTA活動の紹介

★練馬区震災総合訓練(1月26日)

練馬区内の避難拠点99校で一斉に震災総合訓練が行われました。本校での訓練は、防災無線での連絡、仮設トイレの設置場所の確認、バーナーの組み立てと炊き出しを行いました。同じ訓練を何回もしていますが、訓練をする度に役員の方々のチームワークに感心し、また新たな課題が見つかったりします。本校の避難拠点運営連絡会は地域の方々、区役所の拠点要員、PTA役員、学校要員の合わせて約60名で組織が作られています。情報連絡部、施設管理部、物資配給・給食部、避難誘導・救護部、事務局に担当が分かれ、いざというときに役割が果たせるように訓練を重ねています。

右の写真は、バーナーに火を付けてお湯を沸かしているところですが、点火する際の石油の出し方や地面の傾斜にも気を付けなければならないことがわかりました。



★講演会「いじめについて」(1月28日)

PTA教養委員会の企画・運営による講演会「いじめについて」を実施しました。講師の前開進第二中学校長・関教育相談室相談員の深澤真知子先生から、①関相談室での現状②いじめの構造③いじめる原因④いじめを防ぐには⑤支援を受ける人が増えていく将来についてお話しをしていただきました。いじめはひきょうなことで、いじめる子に問題がある。正当化してはいけません。いじめる人はストレスを抱えている。子どもが失敗しても認めてあげる。その努力を認めてあげることでストレスを減らせるなど、子育てを考えるお話しもありました。また、保護者の方からの学校へのご意見もあって有意義な時間を過ごすことができました。